



砂防ボランティア通信

特定非営利活動法人大阪府砂防ボランティア協会

理事長あいさつ

令和元年度総会を開催

この1年の活動概要報告

危険斜面地等の点検調査

地域調整委員会活動

研修会・講習会

河川室だより（大阪府）

☆ 理事長あいさつ

大江 徹

会員の皆様には、土砂災害の防止のための調査、啓発など当協会の活動にご協力いただき厚くお礼申し上げます。6月11日に開催しました令和元年度総会につきましても会員各位のご理解、ご協力をいただき各議案についてご審議、ご承認をいただきました。重ねてお礼申し上げます。

本協会の中心的な事業であった大阪府からの「急傾斜地崩壊危険箇所カルテ更新業務」が土砂災害対策防止法に基づく区域指定（土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域）のための基礎調査に重点を移され、平成24年度からカルテ更新業務委託が実施されていません。「急傾斜地崩壊危険箇所カルテ更新業務」が受託できた頃は、多くの会員が参画して急傾斜地崩壊危険箇所での「現地調査」、「資料作成」及び「啓発活動」を実施してきました。大阪府の「カルテ更新業務」が実施されなくなったことは協会の事業運営に大きな影響があり、平成24年度からは繰越金の一部を運営資金に充当する事態が続いております。平成27年度決算においては会員の温かいご厚意による寄付金収入と経費の縮減より単年度黒字となりましたが、平成28年度からは再び赤字基調になっております。

しかしながら平成29年度は、当協会事業に賛同をいただける企業法人に対して法人賛助会員として新たに入会していただくとともに寄付金をお願いできた企業もありました。さらに平成29年の台風21号による土砂災害現場の緊急調査や講習会等への講師派遣などに対して、大阪府河川環境課の支援を得て「一般社団法人全国治水砂防協会」から広報・啓発助成金が初めていただきました。平成30年度においても大阪北部地震に関する講習会等への講師派遣などに対して助成金がありました。

また支出面でもさらなる工夫による縮減を図ることで、平成28年度からの赤字幅も相当程度抑えることができおり、赤字解消ももう一步のところに来ております。今後とも協会運営の安定化をはかるとともに、会員の土砂災害に関する技術の研鑽と知識の習得が図れるよう講習会や研修会を実施してまいります。また平成29年度から始めた協会独自の斜面地調査も引き続き実施し、協会と会員の活動の場を広げるとともに土砂災害から府民のくらしと生命を守るための啓発活動に取り組んでまいります。

昨年の「平成30年7月豪雨」では、6月28日から7月8日にかけて台風7号、梅雨前線等の影響で西日本を中心に北海道や中部地方を含む全国の広い範囲で集中豪雨があり多くの土砂災害が発生しています。特別警報の運用が平成25年に始まって以降、一つの災害で4都道府県以上に出されたのは初めての事です。また、平成30年は1道2府41県で3,459件の土砂災害が発生し、昭和57年の集計開始以来、過去最多の件数を記録しました。こうした土砂災害の現状や近年の降雨状況の変化（「非常に激しい雨」（1時間降水量50mm以上の年間発生回数（1976～））や「大雨」（日降水量100mm以上の年間日数（1900～））の頻度は増加傾向）をみますと、大阪府砂防ボランティア協会の活動においては、今後一層地域と連携して地域の防災・減災に向けた取り組みを進めていくことが重要であると存じております。

会員の皆様をはじめ関係機関におかれましては、今後とも当協会の運営になお一層ご支援ご協力をいただきますようお願いいたします。



令和元年度総会（大阪府西大阪治水事務所「津波・高潮ステーション」で開催）

☆ 令和元年度総会を開催

令和元年度総会は6月11日、大阪府西大阪治水事務所の「津波・高潮ステーション」会議室に会員58名（うち委任状提出者10名）の出席のもとに開催しました。

総会では、平成30年度事業報告・決算報告、令和元年度事業計画・予算の各議案について審議し了承されました。

会員の現状は正会員88名（うち斜面判定士66名）、個人賛助会員6名、法人賛助会員16社です。とりわけ法人賛助会員は平成28年度までは6社でしたが、一昨年から当協会の設立目的や活動現状などを各企業に説明した結果、新たに賛同をいただけることができました。平成29年度14社、平成30年度は16社となっています。

総会終了後の会員研修会では、大阪管区气象台土砂災害気象官 平井明宏氏から「警戒レベルの導入と土砂災害警戒判定メッシュ情報の高解像度化について」、大阪府都市整備部河川室河川環境課砂防グループ総括主査 灰原通晴氏から「大阪府の砂防事業の取り組み状況について」の講演をしていただきました。

☆ この1年の活動概要報告

危険斜面地等の点検調査・防災啓発活動

土砂災害から府民の命を守るため、大阪府や市町村と連携して土砂災害防止のための点検調査や防災意識の向上・啓発に努めました。

昨年度の斜面地点検調査は、土砂災害防止のため6月の土砂災害防止月間において各土木事務所管内で実施される土砂災害危険箇所パトロールに参加しました（7土木事務所、15名参加）。

また、地元、市町、土木事務所からの要請で7月豪雨などによる被災箇所（能勢町下田尻、平通）他3市1町6地区もにおいて緊急調査を行うとともに必要な助言を行いました（19名参加）。

さらに協会独自の斜面調査として八尾土木事務所の協力を得て過去に作成した「斜面地カルテ」等を用いて、柏原市9箇所において3日間斜面地調査を行いました（13名参加）。この調査は平成29年度の池田土木管内に続くものです。

6月18日震度6弱を観測した「大阪北部地震」で危険度の高いと判断される池田・茨木・枚方の3土木事務所管内の「土砂災害特別警戒区域」などの地区を対象に国土交通省 TECFORCE（緊急災害対策派遣隊）、大阪府職員と合同の緊急点検を6月21日、22日に実施しました（5名参加）。

防災啓発としては、6月の土砂災害防止月間行事の1つである「砂防フェア」では、富田林市役所及び大阪府南河内 府民センターにおいて啓発パネルの展示を行いました。大阪府砂防協会が主催する災害講習会において講師を派遣し、市町村職員を対象に大阪府北部地震に関する講演を行い土砂災害防止の啓発に努めました。出前講座として西宮市仁川百合野町地すべり資料館において富田林市東条地区の住民を対象に「土砂災害危険箇所の確認と災害時の対応」について講習会を行いました。また、新規会員の技術向上のための現地研修会を八尾土木管内の急傾斜地崩壊危険箇所他で実施しました（6名参加）。さらに地すべりの動態観測地である八尾市黒谷「市民の森」の清掃活動に参加しました（3名参加）。

研 修 会・講 習 会



土砂災害危険箇所パトロール
高槻市出灰地区



大阪北部地震後の緊急点検
枚方市香里園



新会員現地研修会
柏原市原地区

《今年は「高槻CATV」の取材がありました》

1. 現地研修会—京都府福知山市『雲原砂防施設群』—

・平成30年11月9日 現地研修会

京都府福知山市にある『近代砂防の先駆け』と言われている「雲原砂防施設群」の現地研修会を実施した。雲原砂防は、昭和9年の室戸台風による災害を契機に実施された我が国の砂防計画の先駆けであり、周辺の村づくりと一体に人々の暮らしを向上させた歴史的価値のある砂防施設群で、こうした文化財的価値が評価され、平成18年7月28日に砂防施設としては初めて国の登録記念物として登録されています。日本で初めて砂防の理想とする砂防施設の配置や流路工の線形改良などの計画をそのまま実施された現場でした。雲原砂防施設群が整備されてからは、大きな土砂災害を受けていないとのことでした。会員28名、大阪府6名、法人賛助会員3名、合計38名が参加しました。



砂防施設としては国登録記念物第1号



平成30年度現地研修会 京都府福知山市雲原 深山川第1号堰堤上流側

2. 砂防講習会

(1) 平成30年11月28日 大阪府河川協会及び大阪府砂防協会との3者共催による講習会(場所; エル大阪 南館10階) 参加者72名、うち会員27名参加

「最近の全国的な土砂災害の特徴と平成30年の大阪府の地震による災害について」

国土交通省 国土技術政策総合研究所主任研究官 木下 篤彦 氏

「台風21号の高潮・高波災害の概要と今後の課題」

京都大学防災研究所 気象・水象災害研究部門 准教授 森 信人 氏

(2) 平成31年2月8日 近畿ブロック(2府4県) 砂防ボランティア協会合同講習会(場所; アネックスパル法円 坂)

平成30年度は大阪府が当番県でした。参加総数181名(ボランティア120名、自治体職員61名)、当協会会員29名参加

「土砂・水災害を助長する流木」

京都府立大学 名誉教授 水原 邦夫 氏

「防災気象情報の利活用について」

大阪管区气象台 土砂災害気象官 平井 明宏 氏

「多発する土砂災害と砂防ボランティア」

砂防ボランティア全国連絡協議会 会長 亀江 幸二 氏

氏

「大阪府の土砂災害対策について」 大阪府都市整備部河川室 河川環境課砂防G 中川 郁雄 氏

（3）令和元年6月11日 通常総会後、会員研修会を開催

「警戒レベルの導入と土砂災害警戒判定メッシュ情報の高解像度化について」

大阪管区气象台土砂災害 気象官 平井 明宏

氏

「大阪府の砂防事業の取り組み状況について」

大阪府都市整備部 河川室河川環境課砂防グループ総括主査 灰原 通晴 氏

☆ 令和元年度の主な事業予定

- ・11月 水害・土砂災害に関する防災講演会（大府砂防協会・河川協会と共同開催）
- ・11月 現地研修会
- ・2月 土砂災害に関する講習会 近畿ブロック（2府4県）砂防ボランティア協会合同開催（兵庫県）

☆ お 知 ら せ

- ・当協会会員が砂防ボランティア活動等功労者として表彰されました

去る6月6日、神奈川県横須賀市で開催された「第二十回砂防ボランティア全国の集い」において当協会の上畑 憲光氏、若菜 邦雄氏の両名が砂防ボランティア全国連絡協議会 亀江 幸二会長から砂防ボランティア活動等功労者として表彰されました。

河川室だより

—大阪府都市整備部河川室河川環境課より—

- ★ 土砂災害防止法に基づく「区域指定箇所」で検索

URL ⇒ <http://www.pref.osaka.lg.jp/damusabo/dosyahou/sitei.html>

- ◎ 防災情報は「おおさか防災ネット」で検索

URL ⇒ <http://www.osaka-bousai.net/pref/index.html>

- ◎ 土砂災害防災情報は「大阪府土砂災害の防災情報」で検索

URL ⇒ <http://www.osaka-bousai.net/sabou/index.html>

- ◎ 災害リスク＜土砂災害、洪水、津波＞については「大阪府災害リスク」で検索

URL ⇒ http://www.pref.osaka.lg.jp/kasenkankyo/disaster_risk/

- ◎ 市町村ごとの「大雨・洪水警報などの気象情報」、「台風、地震・津波情報」、「災害時の避難勧告・避難指示」、「土砂災害警戒情報」等を携帯電話メールで配信しています。受信するには次のアドレスに空メールを送信して、設定してください。

E-mail ⇒ touroku@osaka-bousai.net

- ◎ 土砂災害特別警戒区域内の住宅に対する補助制度は「土砂災害 移転補強」で検索

URL ⇒ http://www.pref.osaka.lg.jp/damusabo/soft/r_jtenhokyo.html

携帯の登録メールのQRコードはこちら



特定非営利活動法人 大阪府砂防ボランティア協会

〒540-0033 大阪市中央区石町2-5-8 日宝中之島ビル4F

TEL/FAX 06-6809-7122

E-mail: osakasabovo@tea.ocn.ne.jp

<http://o-sabovo.sakura.ne.jp/>

—砂防ボランティア会員 募集中!!—

年齢、性別、経験（砂防に関する知識等）は問いません。

＜当協会の構成＞

正 会 員 88名

斜面判定士 66名

賛助会員

個 人 6名

法 人 16社

（令和元年7月現在）

●●●●●●●●●●当協会を支援していただいている法人賛助会員（アルファ順）●●●●●●●●●●

（株）浅沼組、（株）エヌイーエス、（株）奥村組、共和コンクリート工業（株）、協和設計（株）

（株）建設技術研究所、（株）CPC、（株）セリオス、（株）竹中土木、戸田建設（株）、（株）浪速技研コンサルタント

（株）日本インシーク、日本国土開発（株）、（株）ニュージェック、（株）八州、復建調査設計（株）

●●●●●●●●●●当協会に寄付をしていただいている法人（アルファ順）●●●●●●●●●●

大日本土木（株）、（株）TMS 柔構、飛島建設（株）